

# ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌

第30号

2011年12月1日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり  
協議会

秋は縁と絆が光る  
地域の取り組みがいっぱい

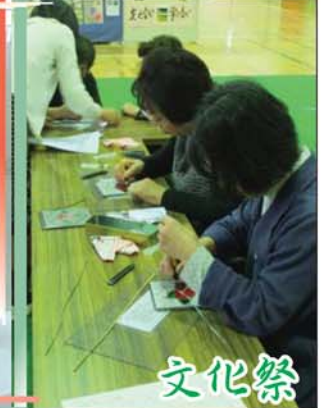
市民大運動会



祝 鷺山校区敬老会



敬老会



文化祭



ふるさとふれあい  
清掃



子どもフェスティバル



ふるさとふれあい活動



↑今回鷺山では、42組の御夫婦が金婚を迎えられました。これからも健康で幸せな夫婦の歩みを祈念いたします。



9月19日敬老の日に、鷺山小学校の敬老会が開催されました。例年猛暑となるこの時期ですが、今年の敬老会は、少し気温も穏やかな中で行うことが出来ました。今年、金婚を迎えられる御夫婦は42組お見えになりました。また、敬老会の式典終了後は、様々なお祝いが行われました。

9月19日 敬老の日に 鷺山校区敬老会 開催



↑毎年、青山中学校の生徒の皆さんが、素敵な歌声を敬老会で響かせてくれています。心温まる合唱をありがとうございました。



←今年、ぎふ清流国体のミナモキヤラバンドもお祝いに駆けつけてくれました。

←各種クラブ団体の皆さんからも、合唱や演奏で、皆さんへのお祝いの気持ちを表現していただきました。

青山中学校1年生による合唱では、すばらしい歌声が会場に響き、さわやかな風を吹き込んでくれました。大垣女子短期大学の皆さんもアンサンブルの皆さんも来てくださり、ぎふ清流国体のマスコットキャラクターのダンスも踊ったり、素敵な演奏を



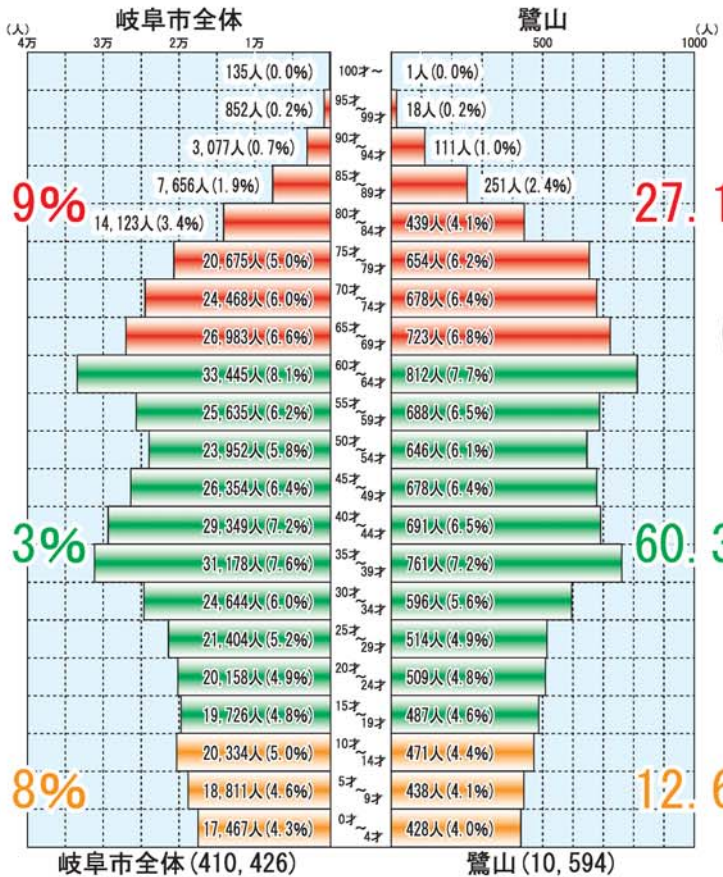
↑敬老会の受付では、自治会長の皆さんが地区毎に協力して、ご参加いただいた皆さんの確認をしていきました。



→敬老会の最後は、お楽しみ抽選会を行いました。

←交通安全協会の皆さんも、小学校の門周辺で、道路横断の誘導をしていただきました。

響かせてくれました。その他にも「川」の流れるように「と」の記憶に残る素敵な曲のレ、民謡やダンスの披露が、素敵な舞を披露して、お祝いの行事も後には、お楽しみ抽選会も行われ、鷺山商店街の皆さんが渡されました。お祝いの行事も商品券のお取り見のり、お祝いの行事も



### 鷺山って 高齢者の皆さんが多いの？少ないの？

鷺山全体で65歳以上の方は、平成23年4月1日段階で 2,875人の方がお住まいです。鷺山全人口の27.1%を占めています。岐阜市全体の高齢者割合23.9%に比べて、約3%高いです。地区別の高齢者割合では、岐阜市全体では17番目に高い地区です。因みに岐阜市高齢化率1位の地区は京町地区の37.3%です。高齢者の皆さんの人数では、岐阜市全体では、7番目に多い地区です。因みに岐阜市高齢者数1位の地区は厚見地区の3,365人です。これを75歳以上の後期高齢者の皆さんの割合でみると13.9%で、岐阜市全体で15番目に高い地区です。後期高齢者人数では、1,474人で岐阜市全体で3番目に多い地区です。これからも、高齢者の皆さんが、イキイキ暮らすまちづくりを進めることが、鷺山にとって重要なポイントになるでしょう。

10月9日(日)  
鷺山校区  
市民大運動会  
開催!!

10月9日(日)に、鷺山校区市民大運動会がさわやかな風吹く快晴の中、開催されました。この市民大運動会では鷺山、正木、古川、緑ヶ丘、清洲の各地区の対抗競技や個人参加競技等合計約30種目が体育振興会や自治会連合会の皆さんにより準備されました。

あう中、清洲地区が制しました。午前の種目最後の各種団体対抗リレーでは、若さと体力のあふれる消防団が制しました。

午後の競技では障害物競走、自転車おそ乗り競争、さがし物競争といったちよつとしたこつが必要な競技が行われたり、鷺翔のよさこい踊り、スポーツ少年団による空手の形も披露されました。

競技最終種目の地区対抗リレーでは、女子の部は鷺山地区が制し、男子の部では、鷺山地区の鉄人の追い上げを振り切り、正木地区が制して、運動会の幕を閉じました。また来年、素敵な競技が繰り広げられるのが、今から楽しみです。

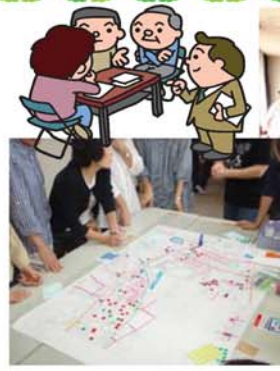


↑ 体育振興会の号令にあわせて、参加者全員で準備体操を行いました。日頃動かさない体だからこそがをしないように入念な準備体操が重要です。



女性防火クラブ、鷺山水防団合同で、DIGを実施

9月25日(日)に鷺山公民館で、女性防火クラブ、鷺山水防団合同で、DIG(災害図上訓練)を行いました。訓練では鷺山の地図に災害時に支援の必要な高齢者等のお住まいの状況、それを支える地域の担い手の状況を確認し、災害時に必要な対策を練っていきましました。このような図を活用した対策検討は、いざという時にどのような備えが必要であるのか具体的考えることができました。皆さんも災害時にどのような備えが必要か今一度考えてみてください。



↑ 図上訓練を岐阜北消防署の協力で、グループに分かれて実施していただきました。

「無事故で年末、笑顔で年始」

文化祭出展者、自治会長各種団体が協力をして文化祭の会場づくりに取り組みました。



11月5日(土)、6日(日)の間、鷺山小学校体育館で、鷺山校区文化祭が開催されました。今年文化祭は、今までと違う文化祭を目指して、公民館長をはじめ関係者の皆さんが様々な意見を交わしながら企画を進めてこられました。その一つが「体験型展示」の開催です。今までの展示だけでは感じることが出来ない実感がそこにはありました。



今年の文化祭1日目は、御抹茶、フラワーアレンジメント、尺八など様々な体験型コーナーが設けられました!! 緻密な竹細工、能面づくりの紹介なども行われました。



体育館舞台では、公民館のクラブ活動団体の他、地域で活躍されている文化活動団体の皆さんが、日頃の成果を披露していました。



青山中学校、鷺山小学校からも素晴らしい美術作品、自主研究作品等が展示されました。発想の豊かさを感じさせる逸品がずらりと並びました。



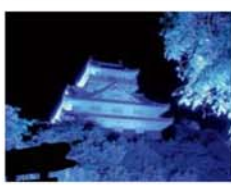
抹茶を自ら点ててみたり、フラワーアレンジメントを作成したりする体験活動は大変好評のうち、文化祭初日として終了しました。展示物も本当に素晴らしいものがたくさん寄せられていました。細かな竹細工、様々な表情の能面、パッチワーク、書や絵画など素晴らしい感性が光る力作が揃っていました。また小・中学生の美術作品等も展示され、地域一帯の文化交流が表現された2日間でした。



文化祭の展示は、書、絵画の他、花やクラフトなど様々な力作が展示されました。中には、岐阜市で受賞した作品も展示されておりその質の高さは驚くものがあります。



教育委員会からは鷺山の遺跡群から発掘された様々な埋蔵品が展示されました。中には、将棋の駒も発見され、将棋の戦法一つである「美濃困い」の発祥の地であることを思い起こさせました。



11月14日は世界糖尿病デーです。11月13日(日)から14日(月)の間、ブルライアツアップされたか? という世界糖尿病デー存じ上げられています。この機会に、世界糖尿病デーの糖病や予備群だと。皆さん健康管理を心がけましょう。

青にライトアップされた岐阜城が11月13日(日)から14日(月)の間、ブルライアツアップされたか? という世界糖尿病デー存じ上げられています。この機会に、世界糖尿病デーの糖病や予備群だと。皆さん健康管理を心がけましょう。

鷺山夏祭り大会においても毎年、JAFの協力を頂きシートベルトの安全体験を実施しています。車を運転する際は、シートベルトを締めて、交通ルールを守って、安全運転をしましょう。



交通安全協会の皆さんを交わす機会、12月11日(日)から12月20日(日)の間、冬の交通安全運動が実施されます。高齢者の飲酒運転の根絶、事故防止、安全利用を皆さんも心がけていきましょう。

12月11日(日)から20日(火)まで 冬の交通安全運動が実施されます

青少年育成市民会議の大縄跳び



体育振興会のグラウンドゴルフ

催されました。バルでは、インリーダール、楽しい遊びや体験コーナーを開きました。



11月3日文化の日、子ども会主催で子どもフェスティバルが開かれました。

インリーダーの児童や各種団体が協力して開催  
11月3日文化の日  
**子どもフェスティバル**

女性防火クラブの美味しい焼きそば



老人クラブ連合会のペタンク



ドッチビーもやったよ!!

体験コーナーは全部で10箇所を回ると子ども達も大変な体験をしました。綱跳び、ドッチビーや大縄跳び、消防の放水体験、餅つき、お餅の試食など、いろいろな体験ができました。



岐阜北消防団鷺山分団の放水体験



5年生が刈り取ったもち米を使って餅つきをしました。



鷺山の子どもの達を中心に、たくさんの人達が協力して開催する子どもフェスティバルの姿は、ある意味で理想とする子育て環境を作り上げようか。

皆さんが協力して、運営をしてくださいました。また、今年の餅つき体験では、JAぎふ鷺山支店の農政推進委員会の皆さんの協力を頂き、5年生が田植えや刈り取りを行った餅米を使って、執り行われました。



ふるさと鷺山を  
見つけよう  
ふるさとふれあい清掃  
&  
ふるさとふれあい活動



←鳥羽川の堤防でのゴミ拾いでは、たくさんのポイ捨てゴミから、自転車や家具などの不法投棄まで、見つかりました。



11月20日(日)に、11月第3日曜日のクリーンシティぎふの日運動にあわせて、鷺山全体でふるさとふれあい清掃が実施されました。自治会連合会の皆さん、鷺山小学校の児童が力を合わせて、鳥羽川・伊自良川の堤防や鷺山公園の清掃、各地区の公園の清掃などに取り組みました。



動となりました。終了後、小学校では地元の方々が講師になって、ふるさとについて学習をする「ふるさとふれあい活動」が行われました。学年毎に異なる学習を行い、6年生では戦時中の体験講話、5年生では特殊な装具をつけての高齢者疑似体験、4年生では鷺山の竹林整備、3年生では鷺山に生えているモウソウチクを使った菜箸作り、1、2年生はコマやおはじき、かるたなどを使っていた昔の遊び体験に取り組みました。地元大人の皆さんも、貴重な体験学習として実施することができました。

↑地元の大人が、講師となって、様々な体験活動が、実施されました。この「大人の経験」が子ども達の成長に活かされたらいいですね!!



冬の交通安全運動は、12月17日(日)～20(火)の10日間に実施

# 鷺山の福祉

第41号 発行  
岐阜市社会福祉協議会  
鷺山支部  
Tel 231-0040

## 生活習慣病を予防しよう!!

## 石黒先生を招いて健康講座を開催



9月10日(土)に鷺山公民館で生活習慣病予防の健康講座を開催しました。石黒クリニックの石黒院長をお招きし「有名から学ぶ健康な人生」について、いかなる病いと戦い、又は共存し、いかに人生を送ったか」と題し、講話をいただきました。

私たちが知っている有名な人がどんな病気が原因で亡くなったか、どんな病気が原因で闘っているかなど、著名人の名前を挙げながら、病気の発症原因、予防方法などの講話を頂きました。

先生の講話は時にはユー-



↑ 石黒先生の講話では、長島茂雄さんや西田敏行さんなど著名人が患った病気から、注意すべき生活習慣病について教えていただきました。



参加者全員で家庭で取り組める筋トレ体操を体験しました。



モアが入り、会場が笑いに包まれて、大変分りやすく聴かせていただきました。

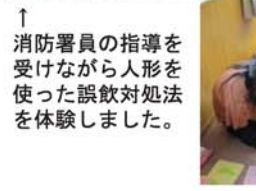
また、岐阜市北部ふれあい保健センターから「岐阜市・鷺山地区の生活習慣病の現状」の解説や鷺山生活改善推進協議会による減塩味噌汁の試飲や生の野菜を使った一日に必要な野菜摂取量の説明もいただきました。

筋トレクイズ代表河合さんと筋トレサポーターの指導で、寝たきり防止のための「筋トレ体操」を体験しました。

**注意して、健康な生活を送るように心がけましょう。**



我が子の成長を見つめることができて足型を作成しラミネート加工をしていきました。



↑ 消防署員の指導を受けながら人形を使った誤飲対処法を体験しました。

した。教室では、岐阜北消防署救急隊員による誤飲時の対処方法や簡単な誤飲時ツク・クツキング体験、子ども達の足型作成、鷺山読み聞かせサークルによる絵本の朗読など、子育てに役立つポイントの学習や親子同士の交流を行いました。

**子どもは地域の宝です。**やかな成長を地域全体で見守っていききたいです。



平成22年度生まれの鷺山在住親子を対象に「親子ふれあい教室」を9月11日に開催しました。

はじめまして!!  
鷺山の新しいお友達  
親子ふれあい  
教室開催

11月12日(土)3歳以下の子育てサークルの親子150名が、さつまいも掘りと餅つきを行いました。

JAぎふ鷺山支店の全面的な支援を得て、5月に親子で植えたさつまいもの収穫の日を迎えました。子ども達は顔ぐらいいの大きさを助けて貰いながら小さなシャベルで一生懸命掘っていました。

その後、会場をJAぎふ鷺

## 子育て支援サークル さつまいも掘りと餅つき体験!!

8月5日(金)鷺山小学校の児童と保護者30名が参加し、岐阜市北市民健康センターで料理教室を開催しました。

今回は「岐阜県の郷土食を学びながら健康を考えよう」をテーマに、飛騨地方の郷土食「朴葉すし」をメインにゴーヤーチャンプルとレタス・コーンスープの3品を鷺山食生活改善推進

3世代親子料理教室  
親子でクッキング



「豚汁」もおおいしくいただきました。



山支店に移して、農政推進委員会の協力で餅つきを体験しました。出来上がった餅をきなこ餅と小豆餅に仕上げました。

また、日赤奉仕団の皆さんの手作りの具たつぷりの「豚汁」もおおいしくいただきました。



↑ 親子で朴葉すしづくりに挑戦!!子ども達は、真剣な眼差しで調理の仕方を学んでいました。

協議会やPTA、保護者の方と一緒に調理しました。

子ども達は慣れない手つきで、ゴーヤーを包丁で切り、具の焼鮭、昆布佃煮、生姜を乗せ、朴葉に包んだりと大活躍でした。

完成させた後、出来立ての料理を皆で味わいました。



# 震災と社協・ボランティア

岐阜市社会福祉協議会鷺山支部 支部長 乾 尚美



## ◆ボランティア活動へ・・・

7月26日から29日まで、3泊4日の日程で岐阜市社会福祉協議会主催の東日本大震災のボランティア活動に参加した。その体験を通してボランティア活動の課題や社会福祉協議会等の地域福祉活動に求められるものなど、感じた点を紹介したい。事前に災害ボランティアのオリエンテーションがあり、派遣地の大槌町の被災状況やボランティア活動の説明と共にボランティアの心構えとして「主役は被災地の住民、ボランティアはそれをサポートする存在」「ボランティア活動は自己責任・自己完結」が強調された。そして当日を迎えた。

## ◆岩手県大槌町へ・・・

出発はただ、ひたすら貸切バスに乗って被災地近くの前泊地から2時間程離れたビジネスホテルへ向かうのみ。12時間バスに乗り続けた為、腰が痛くなり先が曇らされた。翌日からボランティア活動を始めることになった大槌町は、釜石市に近く、三陸海岸に大槌川が流れ込む大槌湾に面した町。テレビ等で建物の上に大きな船が乗った光景が映し出され、そして、津波で町長はじめ多くの職員を失った為、行政機能が麻痺して復興が最も困難な町としてよく報道される町である。

既に3・11から4か月経っており、瓦礫類はあらかじめ片付けられており、地面がむき出しの状態が一面に続いている。そして人影を殆んど見ないのが不思議に感じられる。見かける人影はボランティアばかりといった、一見すると大臣の問題発言となった「死の町」なのである。

しかし、他市町村の社協が協力して設置した災害ボランティアセンターで登録手続きの為、待機していると、近くで京都府警のマークをつけた男性グループが黙々とスコップで、その地面を慎重にかきわけているのが見える。彼らは未だに行方の分からない住民を炎天下で捜し続けているのである。おそらくは遺族からの願いを受け止め、懸命にご遺体の捜索活動が続いているのであろう。遺族の家族への情愛、諦め切れない心情が伝わってくる。やはり「死の町」ではない。

ボランティア活動は、大槌川に戻ってくる鮭の為に川をきれいにする「鮭プロジェクト」とその一環として大槌川の堤防を菜の花でいっぱいにしてという「菜の花プロジェクト」のいずれかになるオリエンテーションで聞いていたが、現地で「菜の花プロジェクト」になった。具体的な作業は堤防の草取りである。大槌川は鷺山を流れる鳥羽川と同じような川幅であるが、堤防の高さは少し低く勾配も少し緩い。草取りの未着手の範囲は、おおよそ200mである。とても20人程で正味



2日間ですべて完了することは誰の目にも不可能と思われた。1時間に10分の休みを取りながら斜面の為、不自然な体勢で草を取る人、取った草を一輪車で運び出す人と自然に分業しながら進む。休み時間等でボランティア同士が話しかける様になり、コミュニケーションが深まってくると、それに付れて全体の作業がはかどって来た様に感じられた。そのうち誰かが「あそこまでやり遂げたいね」と堤防に設けられた階段を指差した。目標が示されたことで作業が勢いづいた。結果的には階段を越え、全ての草取りを完了したのであり、全員で万歳。来春には菜の花の咲き乱れる大槌川で再会しようという提案まで飛び出した。

オリエンテーションでは、実はもう一つ「がんばらない、あきらめない」というボランティア活動の心構えも指導されており、本当はルール違反なのかもしれない。しかし、全員とも達成感で満たされた。

## ◆ボランティアとは、これからの地域福祉とは・・・

草取りをしながら、不思議に思ったのは先にも触れたが、ボランティア以外の人に会わないのである。出来ることなら被災者に会わせていただいて一声かけたい、出来れば震災当日のことをお聞きして直接被災者の困り事を手助けしたいという気持ちを参加者の多くの方がもっていた。

実は活動2日目に、一人の老婦人が草取りの中へ連れて来てお話を伺うことが出来、このことは達成された。その婦人はアイスクャンデーをボランティアに差し出されながら「暑い中を本当にありがとうございます」とお礼を述べられ、そして、震災当日の事を思い出しながら「この堤防を乗り越えて津波が来ました。今は穏やかに見えますが、この川底には瓦礫や金属類など危険な物でも埋め尽くされています。この川は当日、逆流して家屋を50軒以上も上流に押し流したのです。火のついた建物も流されてきたのです。」と話された。事実を淡々と話されることでむしろ当日の情景が不思議にリアルに伝わってくるのである。帰りの車中でボランティア活動等について宿泊先の同室の数人で話し合ったことを含めて思い返してみた。今回の震災、津波、原発事故は国民の生き方、死生観にも大きな影響を及ぼしたと言われる。震災の被害を目の当たりにして「死は他人事ではない」と思い知らされて大変なショックを受けた方が多いと思う。必然的に、人生において何が大切なかと自問して、家族や仲間との関係に目を向けた方が多いのではないかと思う。その延長線上に地域社会のあり方に及んだ人もあろうし、ボランティアの意味も、自分の生き方の上で深くとらえ直した方もおられるであろう。

私もその一人である。先程の直接、被災者に会って話してみたいと思う気持ちは、人として自然な事であろうし、今回のボランティア仲間にも共通したものであった。

しかし、老婦人が淡々として伝えられた事実を思い浮かべると、流れ来る家屋の中には必死で離されまいと柱にしがみついた人もおられたでしょうし、中には力尽きて流されてしまった方もおられるかも知れない。遺族であればその模様をいやがうえにも想起されてしまい、そのたびに身を苛まれるのではないのでしょうか。血を分け合った家族ならではの言葉に尽くせないつらさを抱えた方にどのような言葉をかけたらいいのか、よくよく思索するとある意味で、被災者に会いたいという願いは、当方の勝手な思いなのかもしれないと感じるようになった。

ボランティアとしての具体的な行動の前に「被災をされた方への思いを受け止める十分な感受性があること、つまり、他者への思いやり、同苦を感じる力をつけること」が大事なことで、優先されるべきことではないかと考えるようになった。

盛んに言われるようになった地域の「絆」や「支えあい」の基礎になるのもこの他者への「気づき」「共感力」と言うべきものである。この精神が地域に根付いた時、地域社会は劇的に変革するだろう。ところで参考までに今、この力を最も身に付けてほしいのが政治家である。それにしても、被災地の住民同士で考え出したのが、もう一度、鮭が遡上する為の「鮭プロジェクト」と大槌川の堤防を菜の花でいっぱいにしてという「菜の花プロジェクト」であることは実に夢と希望があり、素晴らしいことである。一番つらい人が、一番夢と希望のあることを考え出される、人の力強さに感嘆する。むしろ、現在我が国が直面する色々な困難に挑戦する為に必要な勇気を与えていただいたように感じられ感謝したい。



### 火の用心

11月9日(水)～15日(火)  
 岐阜北消防団 鷺山分団  
 秋季全国火災予防運動  
 広報活動を実施

11月9日(水)～15日(火)は、秋季全国火災予防運動週間でした。この時期に合わせて、岐阜北消防団鷺山分団では、夜間の火災予防広報活動を実施いたしました。消防団が所有するポンプ車で各町内を巡回しながら、火災予防に向けた様々なメッセージが広報されました。

### 「我が家では、火事なんて起きない!!」

今一度身の回りや日頃の生活を振り返ってください。ちよつとしたところに火事になる危険が潜んでいるかもしれません。火事になったら、火事になり返しがつきません。火事にならないようにする「予防活動」こそ、私たちの生活を守る最も効果的な取り組みです。



↑看板を設置して、火災予防運動の告知も行いました。

自宅の寝室や階段に住宅用火災報知器は設置されていますか？

現在、

火災報知器の設置は義務づけられています。

### 住宅防火のちを守る7つのポイント

- 3つの習慣
- 寝たばこは、絶対やめる
  - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
  - ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 4つの対策
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報機等を設置する
  - 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する
  - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する
  - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる



◆連絡先◆  
 鷺山分団分団長 川島道徳  
 090-4110-5198

また、消防団では年末の5日間に、年末夜警を実施いたします。新しい年を迎えるにあたり、消防団一丸となって、火災が起きないように、鷺山での夜間の見回り活動をすすめてまいります。皆さんも今一度防火に向けた活動にご協力ください。

現在、消防団では団員を募集しています。地域を守る防災活動に一緒に取り組まいませんか!! 興味のある方は、ご連絡ください。

### 参加者募集!!

12月21日(水)午後7時～

まちづくりに関する意見交換会が開催されます

次期岐阜市総合計画策定に向けて  
 岐阜市役所 総合政策課

意見交換会では、鷺山、常盤地区を対象に地域の課題、将来のまちづくりについて意見交換を行います!!



岐阜市では、まちづくりの基本方針である岐阜市総合計画(ぎふ躍動プラン21)に基づいて、様々なまちづくり活動がすすめられています。現計画は平成24年度までのまちづくりの方針が決められています。その方針を以降のまちづくりの方針としてとりまとめるために、岐阜市役所が地域別に意見交換会を開催いたします。抱える課題は多種多様です。



子育て環境、教育環境をより良くするには・・・

### 防犯、防災に力を入れるまちづくりは どうしたらいいの？



高齢者介護は 今後どうなる？  
 老後の生活を健康に過ごすためには？



交通事故を防ぐためには どうしたらいいの？

若い世代の子育て環境に関すること、新しい道路等の開通に伴う地域の交通安全の変化、防犯・防災に関する対策、近年では高齢者介護や老後の生活の質の向上に向けた取り組みなど、本当に多くの視点が必要になってきています。まちづくりの課題の解決には、日々の生活で実感されている皆さんの意見が反映されること、非常に重要だと思います。よりよい身近な地域のまちづくりのために、皆さんの意見を総合計画に届けてみませんか!!

前回の総合計画策定の際に開催された市民意見交換会の様子です。参加者がグループに分かれて、まちづくりについて意見交換や発表をしていきました。



### 意見交換会の開催概要

開催日時：平成23年12月21日(水)  
 午後7時～8時30分頃

場所：北部コミュニティセンター  
 大集会室(2階)

意見交換は、地区ごとでグループに分かれて行います。事前申し込みは必要ありません。

問い合わせ先：岐阜市役所企画部総合政策課  
 TEL:058-265-4141 内線:2607、2608